



# 子どもたちの未来を奪う 憲法の改悪を許さない！

## ■命と暮らしを守る憲法

今、蔓延する政治不信や閉塞感を利用し、憲法を変え強権的な政治を行おうという動きが加速し、現行憲法が改悪される最大の危機となっております。

憲法改悪を進めようとする人達は、今私たちの暮らしを直撃している、雇用、年金、貧困等の問題まで、とにかく憲法さえ変えればすべて良くなるならばかりに、問題の本質をすりかえて、強引に憲法改悪を進めようとしています。

現在の様々な問題は、日本政府が、憲法の理念である、国民の基本的生存権をないがしろにして、長年にわたり、アメリカや財界寄りの政治を続けた結果生じたものです。

現行憲法は、国民の権利を数多く保障しており、65年も前に画期的な人権の先取りをした、今でも変える必要のない世界でも最先端の内容を誇る憲法です。

## ■九条改憲は戦争への道

戦争放棄をうたった憲法9条があることにより、第2次大戦後かろうじて自衛隊が武器を手に戦うことをせずに、国土が戦場になることもなく、日本の子どもたちの命も守られてきました。

しかしイラクやアフガン戦争では、私たちの税金が、アメリカの軍費に使われ、現地の多くの人々の命を奪ってしまったことを、戦争放棄の平和憲法を持つ私たちは忘れてはなりません。

自民党は、9条を改悪し集団的自衛権を明確化し、日本を名実ともに戦争のできる国へ変えようとしています。そうなれば自衛隊はアメリカの戦争に当事者として参戦し、日本の国土がアメリカの盾となつて攻撃されることとなります。

## ■震災復興、脱原発、安心して暮らせる 社会実現こそ急務

中東の悲惨な状況を見ても分かるように、いつも犠牲になるのは、女性や子どもたちです。けっして子どもたちから平和な未来を奪ってはなりません。

今私たちがするべきことは、憲法の改悪などではなく、震災や原発事故からの復興、命と暮らしを守ることに、そして国民が真に「憲法に守られている」と安心して暮らせる社会を実現することではないでしょうか。

**九条の会・流山**

■連絡先  
TEL/FAX

石林紀四郎 (04-7154-7511) 三原真子 (04-7152-6559)  
山田洋子 (04-7144-3993)